

近畿中国局フオレスターNEWS

コウヨウザン造林地の視察・勉強会（広島県）

コウヨウザンは中国南部や台湾などに分布する針葉樹で、センダンやユリノキなどとともに早生樹として注目されています。

広島森林管理署は8月1日（木）に、広島北部森林管理署、国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター広島水源林整備事務所と合同で早生樹コウヨウザンの勉強会を開催し、広島県庄原市川北町にあるコウヨウザン造林地を視察するとともに、コウヨウザンの調査・研究に取り組んでいる広島県林業技術センターを訪問しました。

広島県庄原市川北町の八谷（やたがい）恭介氏（備北森林組合代表理事組合長）所有のコウヨウザン造林地（林齢61年生、面積0.63ha）では、従来の造林樹種と比較して成長が優れていることや、切り株から萌芽枝が多数発生し、伐採後の再造林が不要で、再造林コストの大幅な削減が期待できることが分かりました。

林業技術センターでは、コウヨウザンの優良な苗木生産及び植栽にかかる様々な技術開発、コウヨウザンの材を用いて作成した合板、LVL、パレット等の製作と性能評価が行われていることから、同センターの苗床試験地や造林試験地を見学するとともに、研究成果の説明を受けました。

これまでの研究成果から、コウヨウザンの成長が早いこと、再造林が不要であること、伐根や根元から発生した萌芽枝で優良な苗木を生産できること、合板やLVLなどの強度試験の結果から建築用材として十分に利用可能であることなど、新たな造林樹種としての早生樹コウヨウザンの可能性を見る機会となり、貴重な視察・勉強会となりました。



コウヨウザン造林地
(61年生林分)

伐採後の萌芽



広島県林業技術センター（苗床試験地）



広島県林業技術センター（造林試験地）

低コストな再造林・保育施業の事例調査（奈良県）

三重県、奈良県、和歌山県の紀伊半島3県と近畿中国森林管理局、森林総合研究所関西支所及び3県の研究機関では、令和元年から紀伊半島3県共同研究実行委員会を立ち上げ、森林・林業の共通課題の研究を進めています。

令和6年度は紀伊半島3県で「低コストな再造林・保育施業の事例調査」を実施することとし、奈良県内では民有林での事例が少ないことから、奈良森林管理事務所管内の事業地（高取山・入谷・桧股国有林）を奈良県内の事例地の1つとして調査が進めることになりました。

調査では、①一貫作業②低密度植栽③コンテナ苗植栽④獣害対策⑤ドローンによる苗木運搬などの項目の現地確認を行うことになっており、奈良森林管理事務所の案内で該当事業地の調査を進めることにしています。



聞き取り調査（奈良森林事務所）



現地確認（高取山国有林）

林業成長産業化構想技術者育成研修（岡山県新見市）

9月10日（火）～13日（金）の4日間、岡山県新見市（小吹山国有林）において、林野庁の委託事業である「林業成長産業化構想技術者研修」（受託者：全国林業改良普及協会）が開催され、森林技術・支援センターの職員がスタッフとして参加しました。

研修には、府県、市町村、森林組合、民間企業等から16名の方が参加。各班に分かれて、森林現況の把握、路網配置の調査、ドローンによる森林資源量の把握などを踏まえ、JRと連携した販路拡大など、アイデアを駆使した森づくり構想が発表されました。



森づくり構想現地実習
（小吹山国有林）

林野庁
近畿中国森林管理局
技術普及課



国民の森林・国有林

TEL : 06-6881-3524
Email: kc_fukyu@maff.go.jp
URL : <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>
〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75

編集後記

大阪・ミナミの名所である複合緑化都市「なんばパークス」の屋上公園「パークスガーデン」で生物調査が実施された。全国的に個体数が減少しているスズメの繁殖が確認されるなど、多様な生物が生息していた。また、昆虫類も64科171種が確認され、都心では珍しい昆虫も見つかったそうである。都心であるが、生物多様性に配慮した取組の成果と言える。素晴らしい。